

生駒市平成25年度予算案

事業概要版

地域課題解決活動促進事業「SBとの協働の進展と地域課題解決の促進事業」	p1
インターネット人権セーフティネット事業	p2
コンビニ交付に税証明を追加します	p3
私立保育所省エネルギー化推進補助	p4
病児保育実施補助	p5
家庭相談員・子育て支援員の充実	p6
南こども園整備事業	p7
スーパーエコスクール実証事業	p8
駅前に図書室を開室します	p9
～郷土愛を醸成する～生駒ふるさとミュージアム	p10
スマートコミュニティ推進奨励金	p11
住宅省エネルギー改修補助事業	p12
生駒駅前北口第二地区市街地再開発事業	p13
リニア中央新幹線関連調査業務	p14
自然エネルギー等活用補助事業の拡充	p15
「第10回 地球環境を考える自治体サミット」開催	p16
水道料金を値下げします	p17
〔(仮称)生駒の水スポット〕整備事業	p18
滝寺中継所建設工事実施設計等委託料	p19
特定保健指導受診促進事業	p20
消防署北分署の新築移転	p21
高機能指令センター実施設計負担金	p22
通学路安全対策	p23
農業ビジョン促進事業	p24
商工まつり	p25

「SBとの協働の進展と 地域課題解決の促進事業」



予算額

184万2千円

<注目ポイント>

SB（ソーシャル・ビジネス）実践者と市による本格的な協働の先進事例を構築。生駒市における参画と協働によるまちづくりのさらなる促進に向け、SB実践者との連携強化を目指します。

- ①教育、雇用、子育てなど、地域の多様な社会的課題の解決に取り組むSB実践者へのインタビューやシンポジウムの開催を通して、生駒発のSBを盛り上げます。
- ②インタビューの中から選んだSB実践者と本市との協働による地域課題の解決に向けた先進的なモデル事業を実施します。

<事業概要>

①「社会を変える」社会起業家インタビュー

◇12人の社会起業家(20代～40代)へのインタビュー。記事は市ホームページ上に掲載するなど広く周知します。

◇インタビューアーに、フリーランスライターの松岡由希子氏を迎えます。

- ②地域の課題の解決に向けた新たな施策や共同プラン立案に向けて、インタビューゲストと市との協働事業を実施します。
- ③シンポジウムを開催し、社会起業家による基調講演及びパネルディスカッションを行います。

<スケジュール>

- ①平成25年4月～ 「社会を変える」社会起業家インタビューを毎月1人ずつ実施
- ②平成25年夏以降 地域の課題の解決に向けた新たな施策や共同プラン立案
- ③平成25年10月下旬 シンポジウムの開催(市内ホール予定)

園市民活動推進課(内線231)

インターネット 人権セーフティネット事業



予算額

15万円

<注目ポイント>

- ①インターネット利用上のルールやマナーの習得
- ②不用意な情報発信によって見る人に不快感を与えない対応や被害にあった場合の対処方法の習得
- ③講座・研修等を通して加害者にも被害者にもならない対処の習得
- ④インターネット上においても一般社会と同様に、ルールやマナーが守られ、社会の一員としての自覚と責任をもってインターネットが利用されるような環境づくりの推進

<目的・背景>

インターネットは、情報の収集や発信、コミュニケーションの手段として、私たちの生活を飛躍的に便利なものにしていきます。しかし、発信者の匿名性や情報発信の容易性などの特性を悪用して、誹謗・中傷をはじめ、差別を助長、扇動する悪質な差別書き込みが、インターネットや携帯電話の掲示板やサイト上に氾濫しています。

本市においては、インターネットのルールやマナーなどについて広報・啓発を行い、見る人に不快感を与えない対応や被害にあった場合の対処方法、講座・研修等を通して未然に防ぐ対処方法を習得してもらいます。また、各関係機関と連携し、広がり防止等に取り組み、インターネット上においてもルールやマナーが守られ、社会の一員としての自覚と責任をもって利用されるように取り組みます。

<事業概要>

- ①広報・啓発活動
- ②情報の収集と提供
- ③講座・研修の開催
- ④関連サイト等の情報

<スケジュール>

平成25年度中 市内小中学校で研修会の実施

圃人権施策課(内線311)

コンビニ交付に 税証明を追加します



予算額

3,113万1千円

<注目ポイント>

- ①受取りまでの待ち時間の短縮
- ②窓口での申請書の記載が不要
- ③市役所の閉庁時や時間外での税証明書の取得が可能
- ④窓口で申請書を記入して取得するよりも交付手数料が安価

<目的> 住民基本台帳カードの普及と利便性の向上を目指します。

<事業概要>

住民基本台帳カードを使って、全国のセブン-イレブンと市民課及び市内6ヶ所の市民サービスコーナーに設置している窓口専用端末機で、住民票の写し、印鑑登録証明書及び戸籍証明書に加え、税証明を受け取ることができるようになります。

<税証明書の対象範囲> 所得・課税(非課税)証明書 最新2年度分

<コンビニ交付及び窓口専用端末機の交付手数料>

所得・課税(非課税)証明書 1件当たり150円予定(窓口300円)

<開始時期> 平成26年1月中旬

<事業概要>

- ①コンビニ交付…毎日午前6時30分～午後11時(年末年始及び保守点検日は除く)
- ②窓口専用端末機…市民サービスコーナー開設日の午前9時～午後5時(保守点検日は除く)

<利用可能店舗>

全国のセブン-イレブンの店舗(約15,000店舗、※市内6店舗)

※ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマートなども今春から順次可能予定です。

<コンビニ交付及び窓口専用端末機を利用するには>

住民基本台帳カードの取得と住民基本台帳カード利用登録申請(暗証番号登録)が必要です。

☎コンビニ交付については市民課(内線302)、税については課税課(内線281)

私立保育所 省エネルギー化推進補助



予算額

2,261万3千円

<注目ポイント>

私立保育所が再生可能エネルギーを生産するシステムを導入するか、エアコン・冷蔵庫・照明機器等を更新することにより高い節電効果が期待できる場合、必要となった経費に対する助成を行います。

<目的・背景>

本市は、平成21年4月に策定した環境基本計画の中で、省エネと自然エネルギーで快適に暮らせるまちづくりを目指しています。また、少子高齢化が進む昨今、本市は「子育て楽しいね！いこま～子どもも大人も笑顔で健やかに育ちあうまち～」を基本理念とした次世代育成支援行動計画を策定して、保育所待機児童対策等の子育て支援に取り組んでいます。

このような状況のもと、市内にある私立保育所が省エネや自然エネルギーを活用した施設運営に取り組めるよう支援することにより、本市のエネルギー利用の効率向上を図るとともに、入所児童に対して環境問題の大切さを伝えていきます。

<事業概要>

市内にある私立保育所のエアコン・冷蔵庫・照明器具等を、省エネ対応の機種に更新したり、園内で使用する電力に再生可能エネルギーを導入したりする等に要した費用の一部を助成します。

<スケジュール>

平成25年4月～平成27年3月の2年間で実施(1年ごとの予算)

園こども課(内線771)

病児保育実施補助



予算額

935万円

<注目ポイント>

学校法人栗岡学園が本市俵口町に県内では3か所目となる病児保育室を開設します。運営等に要する費用の一部を助成します。

<目的・背景>

生駒市では、いこま保育園内において病気の「回復期」であり、集団保育が困難な児童を対象とした病後児保育室を開設しています。しかし、「回復期に至らない場合」であり、当面の症状の急変が認められない児童を対象とした病児保育には対応できる施設がありませんでした。そのような状況の下で、学校法人栗岡学園と協議を行った結果、平成25年4月から阪奈中央病院に小児科が開設されるのに合わせて、病児保育事業を実施することになりました。

<事業概要>

病気の「回復期に至らない場合」であり、当面の症状の急変が認められない本市在住の児童を対象とした病児保育室「阪奈中央病児保育園」を学校法人栗岡学園が平成25年4月1日から開設し、その運営に要する費用の一部を助成します。

利用対象は、生後5か月～概ね10歳の児童。利用時間は平日午前8時30分～午後6時で、利用料金は1日2,000円。事前に医師の診断を受け、担当医師が利用可能と判断した児童は原則として利用が可能です。

<スケジュール>

平成25年4月1日開始

☎こども課(内線771)

家庭相談員・子育て支援員の充実



予算額

<家庭相談員> **1,647**万円、<子育て支援員> **235万1**千円

<注目ポイント>

こどもの安心・安全のための事業に、よりきめ細かく対応していくため、家庭相談員と子育て支援員を充実させます。

<目的・背景>

本市では、市内のこどもの安心・安全のために、子育て支援事業や家庭児童相談などを行うことで虐待の未然防止や虐待への対応に努めています。しかし、児童虐待への対応や相談業務が年々増加しているため、家庭相談員を1名増員し、虐待への対応の強化を図ります。また、子育て支援事業や養育支援家庭訪問事業、就学前未所属児童の安全確認などにより、サポートの必要な家庭を発見・支援することで、虐待の未然防止につなげるために子育て支援員を雇用する予定です。

◇要保護児童新規受理ケース数

H21年度 112件(継続ケースとあわせると263件)

H22年度 150件(〃 305件)

H23年度 157件(〃 341件)

H24年度 131件(H25.2.15現在)(〃 351件)

<事業概要>

① 5日勤務の家庭相談員として、非常勤嘱託職員(臨床心理士など)を雇用する予定です。

	平成24年	平成25年
3日勤務	1人	1人
5日勤務	3人	4人
計	4人	5人

② 子育て支援員として臨時職員(保育士)を雇用する予定です。

☎ 子育て支援センターゆう (☎73-1005)

南こども園整備事業



予算額

4,806万6千円

基本・実施設計 4,638万6千円、測量業務 168万円

<注目ポイント>

現在の南幼稚園の敷地内に、市内初の幼保連携型公立こども園を建設します。

<目的・背景>

南幼稚園とみなみ保育園はともに施設が老朽化しており、耐震性も保たれていないことから、改築が必要です。両園は地域的にもほとんど隣接していることから、幼保一体化の動きの中で、こども園として建設します。

幼保連携型のこども園として一体的に運営することによって、共働き家庭の子どもにも幼児教育を受けられる等の選択肢ができるとともに、短時間利用児(幼稚園児)も給食を希望できる等、従来の保育園・幼稚園の長所をともに生かせるように運営していきます。

<事業概要>

- ①平日9時～14時は、短時間利用児(今の南幼稚園児)と長時間利用児(今のみなみ保育園児)が同じクラスで幼児教育を受けます。
- ②短時間利用児は、現在の園区のみで、入園希望者全員が入園できます。
- ③短時間利用児、長時間利用児ともに保育時間や保育料は現在と変わりません。
- ④通園バスは、従来通り運行します。
- ⑤保育室は、冷暖房完備です。
- ⑥短時間利用児にも、希望によって長時間利用児と同じ給食を用意します。

<スケジュール>

- ①平成25年度～26年度 基本・実施設計、仮園舎(生駒南小学校内)への移転
- ②平成27年度 新築・解体工事
- ③平成28年度 開園

園教育総務課(内線621)、こども課(内線771)

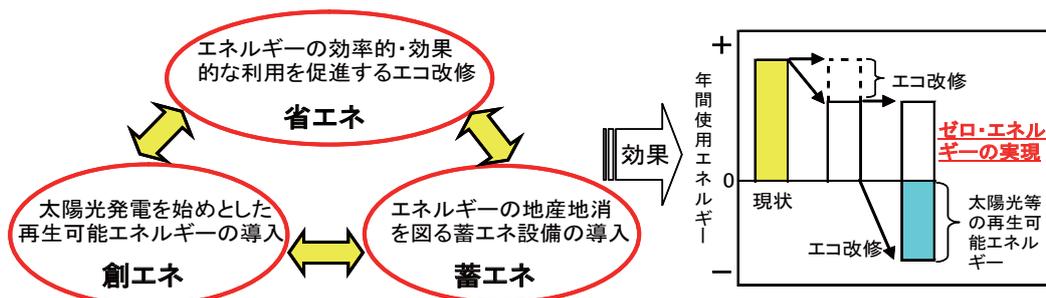
スーパーエコスクール実証事業



予算額
1,500万円(基本設計・実施設計)

<注目ポイント>

生駒市立鹿ノ台中学校がエコに強い学校に生まれ変わります。



<目的・背景>

今後改修を行う予定の公立小・中学校施設において、省エネの徹底によりエネルギー負荷の低減を図るとともに、学校運営上必要なエネルギーを創エネ、蓄エネ等の技術を用いて賄い、年間のエネルギー消費を実質ゼロにすること(ゼロエネルギー化)を目指す実証事業です。また、環境に配慮した学校施設の整備を進めることにより、環境教育への活用などを図ります。

<事業概要>

文部科学省の平成24年度新規事業(3か年事業)で、全国の自治体から公募により生駒市を含む3自治体が選ばれました。生駒市では、下記スケジュールの通り、鹿ノ台中学校で実施しており、平成24年度は、ワークショップを開催して生徒、学校関係者、有識者等を中心に、エコ改修案について検討しました。

<スケジュール>

- ①平成24年度(3か年事業の初年度)…学校設置者、学校関係者、地域住民、有識者等によるワークショップを実施し、学校のゼロエネルギー化への取組方法を検討
- ②平成25年度(3か年事業の2年目)…ワークショップの結果をふまえたエコ改修工事の基本設計・実施設計
- ③平成26年度(3か年事業の3年目)…エコ改修工事の実施

駅前に図書室を開室します



予算額

1億7,523万4千円

<注目ポイント>

生駒駅前北口第二地区「ベルテラスいこま」に図書室を新設します。

<目的・背景>

生駒駅前北口第二地区市街地再開発事業で1つの施設棟と2つの住宅棟などを建設します。施設棟の5階には図書室を整備します。駅前の利便性を活かし、多世代が集う新たなにぎわいを創出する図書室を目指します。

<事業概要>

生駒駅前の利便性を活かした図書室とします。インターネットで予約した市内図書館・図書室の本の受け取り場所として便利で、夜間にも開館するなど通勤通学途中にも利用しやすい施設です。また、読書テラスや読書カフェコーナーを備え、ゆっくりと読書を楽しむ空間づくりを目指すとともに、授乳室やプレイロットを設置して乳幼児連れで気兼ねなく本を楽しめるようにし、多世代が集える施設とします。なお、たけまるホール図書室は新図書室設置に伴い閉室になります。

<スケジュール>

- ①平成25年12月 再開発事業建築工事完了(予定)
- ②平成26年春 図書室開室(予定)

問図書館(☎75-5000)

～郷土愛を醸成する～

生駒ふるさと ミュージアム



予算額

3,810万7千円



<注目ポイント>

生駒ふるさとミュージアムが開館します。登録有形文化財である旧生駒町役場庁舎を改修し、子どもから大人まで楽しみながら、生駒を再発見できる施設です。

<目的・背景>

現在、生駒市の所蔵文化財は市内小学校に保存しており、脆弱な文化財の保管場所の確保が急務となったことと、市民のみなさんの郷土の歴史文化を見つめなおそうという動きや、生駒について知りたいというニーズが高まったためミュージアムを新設します。ボランティアの募集や、生駒市歴史文化基金としていただいた寄附金の一部をミュージアムの新設・運営に活用し、みんなで作るミュージアムをめざします。

<事業概要>

- ①ミュージアムを新設し、建物も収蔵する文化財も適切に保存・管理します。
- ②展示だけでなく、体験コーナーや各種講習会などを通して、生駒市の歴史文化を楽しく学べる歴史文化情報の発信拠点とします。

<スケジュール>

- ①平成24年～平成25年12月末 改修工事
- ②平成26年2月 開館予定

岡生涯学習課(内線646)

スマートコミュニティ推進奨励金



予算額

5,000万円

※ 1戸当たり100万円×50戸(認定戸数)

<注目ポイント>

本市が目指す環境に配慮した持続可能な低炭素住宅都市の構築を推進する事業者に対し、事業完了後に奨励金を交付します。

<目的・背景>

都市計画マスタープランの目標である「みんなが住み続けたいくなるブランドまちづくり」と「みんなが住み続けたいくなる安全・安心なまちづくり」を目指すため、環境に配慮し、安全・安心な地域開発及び住宅建設を推進するものです。

<事業概要>

◇実施地 生駒市上町地内(仮称)オナーズヒル白庭みなみ丘

◇事業者 ミサワホーム近畿(株)

◇認定戸数 50戸

主な整備として以下のことが実施されます。

- ①事業計画地の公共施設内に災害時用施設(炊出しベンチ、防災用資器材を備えた倉庫)が設置されます。
- ②認定住宅全戸に次の設備が設置されます。
太陽光発電、自動車の蓄電池と連携可能な配管、燃料電池設備、スマートメーター、HEMS(発電量・使用電力量が表示できる装置)、外部コンセント(EV・PHV対応)、雨水貯留タンク
- ③認定住宅全戸で長期優良住宅の認定を取得されます。
- ④認定住宅全戸の敷地内を緑被率20%以上確保し、加えて庭や植栽、家庭菜園等として利用可能な土仕上げスペースを敷地の5%以上確保されます。

<スケジュール>

事業者による事業完了後(H25年度中)に、市で事業実施内容の精査を行い、事業者に奨励金を交付します。

閩建築課(内線591)

住宅省エネルギー改修補助事業



予算額

1,000万円

<注目ポイント>

本市の豊かな自然を守るため、省エネルギー対策への新たな取り組みとして、環境に配慮した省エネルギー改修工事を行った既存住宅等に工事費の一部を補助します。

<目的・背景>

CO₂削減、森林資源の保全等環境問題への意識が高まる中、本市では「みんなで創るきれいな街」を合い言葉に、自然エネルギーの活用やゴミの削減等に取り組んできました。省エネルギー対策としても、市役所などの公共施設などで様々な施策を実施していますが、一番身近な住宅の省エネルギー化を推進するため、住宅省エネルギー改修工事費用の一部を補助し、環境負荷の少ない住宅の普及を目指します。

<事業概要>

省エネルギー改修工事を行った既存住宅等の所有者に対し、上限50万円(改修工事費用の3分の1)を20件に助成します。

◇補助対象工事の内容…①窓の断熱改修②床・天井・壁の断熱改修

<スケジュール>

平成25年度中に、省エネルギー改修工事を完了した住宅等の所有者に対し助成します。募集開始は平成25年夏頃を予定しています。

圃建築課(内線591)

生駒駅前北口第二地区 市街地再開発事業



予算額

14億8,790万円

(関連事業)生駒駅前北口交通広場改築工事 5,460万円

<注目ポイント>

市の中心市街地である近鉄生駒駅前に新たな住宅や商業施設、公益施設として図書室などを整備し、新たなにぎわいを創出し、活性化を図ります。また、生駒駅北口交通広場の更なる安全性と利便性の向上のための工事を行います。

<目的・背景>

この事業は、既に整備が完了している第一地区(アントレいこま)、第四地区(アコールいこま)に引き続き、市の玄関口としてふさわしい良質な住宅と魅力的な商業施設などを設け、新たなにぎわいを創出することを目的としています。

<事業概要>

この事業は、再開発組合が施行主体となり、総事業費約71億円で1つの施設棟と2つの住宅棟などを建設するものです。施設棟は地上5階建てで、屋上や壁面を緑化したり、LED照明や太陽光パネルを設置したりすることで環境や景観に配慮した建物になっています。施設内容としては、1階(2階吹抜)が食品スーパー、3階デッキ階はカフェやレストラン、4階は医療モール、5階は公益施設として図書室を整備します。

その他、公益施設として、駅前周辺施設の利便性や駐車需要に対応するため、200台分の市営駐車場を設けます。また、3階のデッキ階には、市民の皆さんが憩い、集え、様々なイベントを行うことができる「(仮称)にぎわい広場」を整備します。

<スケジュール>

- ①平成25年12月 建築工事完了(予定)
- ②平成26年 3月 道路工事完了(予定)
- ③平成26年 春 グランドオープン(予定)

圃地域整備課(内線711)



リニア中央新幹線の新駅の誘致に向けて リニア中央新幹線 関連調査業務



予算額
900万円

<注目ポイント>

本市の将来の発展に資するため、「関西文化学術研究都市高山地区第2工区」にリニア中央新幹線の新駅(中間駅)の誘致に向けた調査や検討を行います。

<目的・背景>

関西文化学術研究都市は、京都・大阪・奈良の三府県にまたがる京阪奈の緑豊かな丘陵において、国家プロジェクトとして整備が進められているサイエンスシティです。

その一つの地区「高山地区第2工区(約288haの市街化区域、未利用地)」に、リニア新駅を誘致し、新駅を中心とした研究・産業施設や副首都機能等の様々な施設の立地による新たなまちづくりを図り、学研都市の活性化や関西再生、ひいては、国家の文化・学術・研究の発展を目指すものです。

<事業概要>

- ①シンポジウム等の開催
- ②PR資料等の作成
- ③駅を中心とした新たなまちづくりの検討
- ④新駅誘致に向けた技術的検証

<スケジュール>

- ①平成25年5月 調査・検討開始(予定)
- ②平成25年9月 シンポジウム等の開催(予定)
- ③平成26年3月 調査・検討事項まとめ(予定)

圃地域整備課(内線711)



次世代の夢、リニア新駅を生駒へ

生駒市は、学研都市高山地区へ
リニア中央新幹線駅の誘致を進めています

自然エネルギー等 活用補助事業の拡充



予算額

3,700万円

<注目ポイント>

地球温暖化対策と環境保全の高揚のため、クリーンエネルギーシステム等を設置する人に補助金を交付します。

新規 家庭用燃料電池設置補助 500万円 (10万円×50件)

拡充 太陽光発電システム設置補助 3,000万円 (10万円×300件)

→対象を専用住宅から全ての建築物に拡充します。

雨水タンク設置補助 200万円 (2万円×100件)

<目的・背景>

異常気象をはじめ地球温暖化に起因すると思われる様々な環境問題が顕著になっているなか、電力不足への対応も迫られています。私たち一人ひとりが、これまでのライフスタイルを根底から見直し、電力消費を減少する努力や、再生可能エネルギーの拡大に自ら取り組むことが求められています。クリーンエネルギーシステム等の設置を推進することで地球温暖化対策及び環境保全の高揚を図ります。

<事業概要>

- ①家庭用燃料電池の設置に対し、10万円の補助金を50件助成
- ②最大出力10kw未満の太陽光発電システムの設置に対し、10万円の補助金を300件助成
- ③雨水タンクの設置に対し、上限2万円の補助金を100件助成

圃環境政策課(内線371)

「第10回 地球環境を 考える自治体サミット」開催



予算額

10万7千円

<注目ポイント>

環境問題に積極的に取り組んでいる29自治体の首長が集います。このサミットでは、ゴミ削減をメインテーマとして、基調講演、参加自治体の取組紹介を予定しています。

<目的>

積極的に環境問題に取り組む自治体の首長らが相互に意見を交わし、情報交換を行います。また、交流を通じて連携し、地域からの地球環境保全活動を推進、発信します。

※「地球環境を考える自治体サミット」は平成16年度に発足した組織で、現在29自治体の首長が加盟しています。前回の第9回サミットは、東海村において「地域協働による環境政策」をテーマに開催されました。

<スケジュール>

平成25年7月11日(木)・12日(金)に北コミュニティセンターで開催予定

(地域や家庭での環境問題への取組を促進するために毎年実施している「環境シンポジウム」を同時開催する予定です。)

圃環境政策課(内線371)

水道料金を値下げします



予算額

△**8,540**万円

(料金改定に伴う値下げ総額)

<注目ポイント>

一般標準家庭(メーター口径20mm、使用水量27m³)では、1月当たりの水道料金が約190円(税込)下がります。

改定前:5,129円(税込)→改定後:4,937円(税込)

<目的・背景>

本市の水源の約6割は奈良県営水道から受水しています。その県営水道の料金が、平成25年4月から1m³当たり現行の140円から130円に、また市町村ごとに設定した基準水量を超えた水量は90円に値下げされます。

これに伴い、本市の受水費が軽減されることから、電気料金の値上げなども勘案した上で、料金改定を行います。

<事業概要>

全ての口径・種別で、基本料金を50円/月、従量料金を7円/m³引き下げます。

<スケジュール>

平成25年4月実施

問上下水道部総務課(☎79-2800)

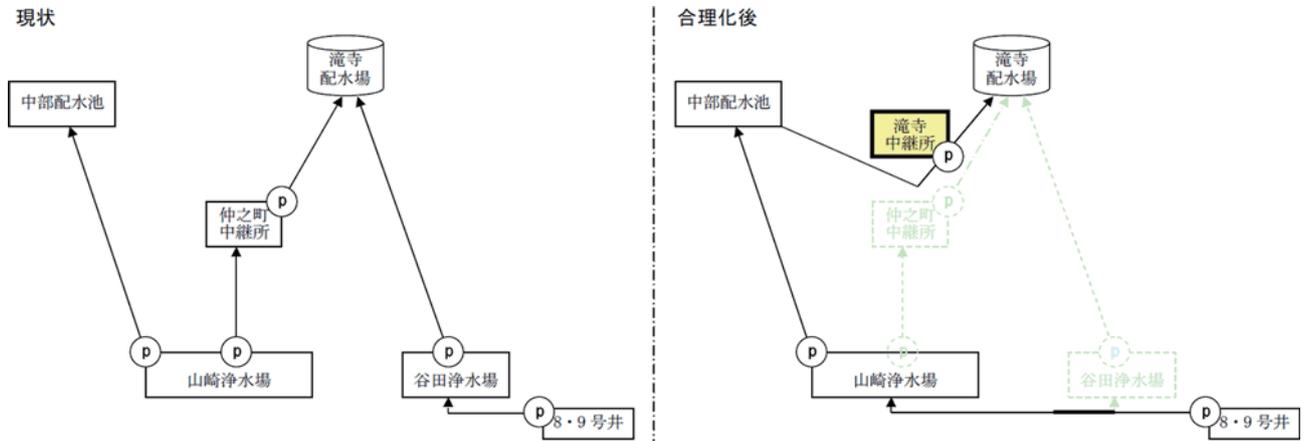
滝寺中継所建設工事 実施設計等委託料



予算額

1,300万円

(総事業費)2億1300万円



<注目ポイント>

効率的な送水系統の実現に向けた施設の合理化を行い、更新費用約15億円の削減を目指します。

<目的・背景>

滝寺配水場へは谷田浄水場と山崎浄水場との2系統から送水していますが、谷田浄水場や仲之町中継所が老朽化しており、滝寺配水場への安定送水が懸念されています。

そこで、滝寺配水場への送水を中部配水池から既存の管路を有効活用して効率的に行う系統に変更することで、谷田浄水場、仲之町中継所の更新を行わずに安定送水を図ります。なお、中部配水池から滝寺配水場への送水には加圧を必要とするため、滝寺児童公園地下に中継所を建設します。

<事業概要>

実施設計、地質調査、家屋調査

<スケジュール>

平成25年度 実施設計、地質調査、家屋調査

平成26・27年度 施工

圃上下水道部工務課浄水場(☎74-2216)

特定保健指導受診促進事業



予算額

12万円

<注目ポイント>

自己流ではわからない生活習慣のくせを知り、生活習慣病予防に効果的と言われているが利用率が低い特定保健指導の利用率向上のため、自己負担金をなくすとともに特定保健指導完了者に対し、健康用品等(指導内容の継続を目的としたボール、マット等)の景品を進呈します。

<目的・背景>

生活習慣病を予防し、市民(国民健康保険加入者)の健康の増進を図ります。

<事業概要>

40～74歳の生駒市国保加入者に対し、生活習慣病の予防、早期発見のため実施している特定健康診査(生活習慣病予防健診)の結果、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備軍には、集団での教室や電話支援等の動機付け支援を、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)と判定された人には、個別面接や運動の実技等の積極的支援として特定保健指導を実施しています。それぞれの対象者が、決められた期間内(6ヶ月)に指導を完了した場合、健康用品等を贈り、保健指導で学んだことを実践し、継続した健康管理を行うための一助とします。

<スケジュール>

平成25年4月開始(予定)

〒国保年金課(内線782)、健康課(☎0743-75-2255)

消防署北分署の 新築移転



予算額

5億3,728万4千円



完成イメージ

<注目ポイント>

地域防災拠点施設として、平常時は地域自治会や自主防災会等が防災等の研修を行うことのできる防災研修室と、災害時に対応するため防災備蓄庫を整備します。その他、電力供給が停止しても、防災拠点施設としての機能を維持するため、自家発電設備や自家給油設備も整備します。

<目的・背景>

東日本大震災の発生や東南海・南海地震の発生の危惧から、耐震性能に問題のある北分署、鹿ノ台分署を統合し、消防救急体制の充実を図るため、北地区の防災拠点として整備するものです。

<事業概要>

◇場所 生駒市北大和4丁目22-6

◇構造 RC造(3階)

◇延面積 約1,570㎡

太陽光発電やLED照明等、環境に配慮した設計となっています。

<スケジュール>

①H25年度 建設工事入札、契約、着工、竣工

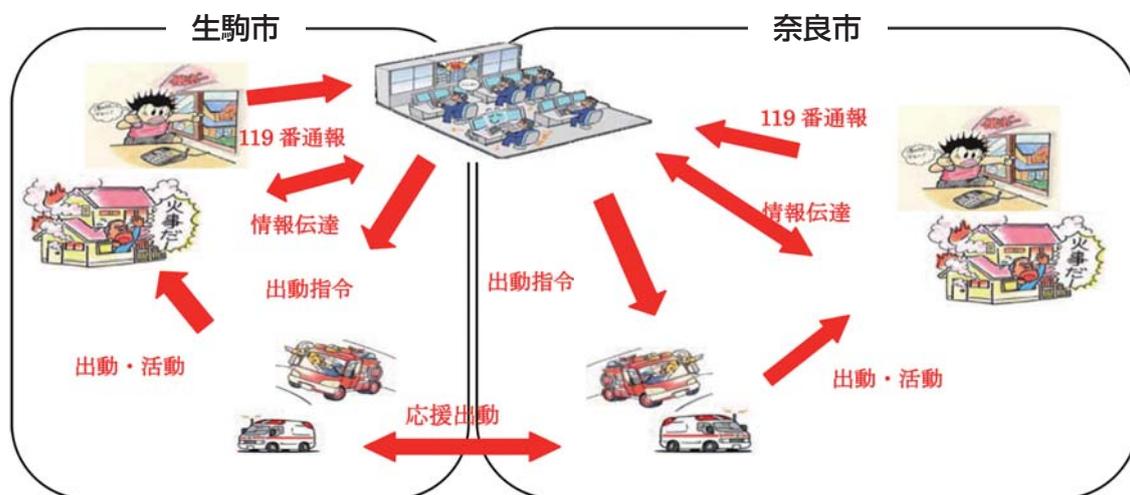
②H26年度 開署

圃消防本部総務課 (☎73-0119)

高機能指令センター 実施設計負担金



予算額
204万円



<注目ポイント>

- ①住民サービスの向上、大規模災害時の広域消防活動体制を強化します。
- ②消防指令施設の整備、運用費のコスト削減等の財政面の効率化等を図ります。

<目的・背景>

近年災害が複雑多様化、広域化する中でより高度で複雑な災害対応と迅速な災害対応が求められているとともに、大規模災害時には近隣市町村と連携し、迅速かつ集中的な広域応援を実施し市町村の枠を超えた指令業務が要求されるようになってきました。

このことから、消防指令業務の共同化において、平成17年7月15日付、消防消第141号消防庁次長通知により「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同化の推進について」が通知されました。

<事業概要>

- ①現在の奈良市消防局通信指令室がある奈良市防災センターに共同指令センターを構築します。
- ②生駒市消防本部に(仮称)災害作戦室を設置します。

<スケジュール>

- ①平成25年度 実施設計開始
- ②平成26年6月 整備開始
- ③平成28年3月 整備完了、運用開始

圃消防本部警防課(☎73-0119)

通学路安全対策



予算額

2,200万円

※国の緊急経済対策を活用し、
H24年度補正予算で実施予定



<注目ポイント>

緊急点検により抽出された市内小学校の通学路における危険箇所のうち、市道にかかる要対策箇所について、安全対策を集中的に行います。

<目的・背景>

昨年4月以降に各地で発生した児童の事故や国(文部科学省、国土交通省、警察庁)からの通知を踏まえ、県及び市の関係者(教育委員会、道路管理者、警察、PTA)が連携し、7月に通学路における緊急合同点検を実施しました。今回、点検により判明した危険箇所について、関係者間で検討した安全対策を県、市、警察がそれぞれ実施します。

<事業概要>

◇対策箇所…50箇所(市対応箇所)

◇対策内容…ガードレール等柵設置、路側線引き直し、路肩カラー舗装など

<スケジュール>

平成25年度中に工事完了(一部箇所は平成26年度も引き続き実施予定)

園土木課(内線511)

農業ビジョン促進事業



予算額

324万円

<注目ポイント・事業概要>

- ①遊休農地活用事業の新規利用者が借用農地の耕起・草刈り業務を農業者に有償依頼した場合、その金額を市が補助します。
- ②青年新規就農者(15歳以上40歳未満)が、農業機械等の設備投資をする場合、市が補助をします。
- ③有害鳥獣(イノシシ等)の被害防止対策として防除柵の設置をする場合、補助上限額を拡充します。

<目的・背景>

農業の推進と優しい生活環境の保全のため、現在、生駒市農業ビジョンを策定しています。そこに掲げた基本目標の実現のための事業を行います。

<スケジュール>

平成25年4月予定

圃経済振興課農林係(内線324)

商工まつり



予算額

70万円

<注目ポイント>

「生駒市農業祭」「花・緑まちづくりフェスタinふろーらむ」と同じ日に、「高山サイエンスタウンフェスティバル」と併催して「商工まつり」を開催します。商工業品の展示・販売等を行うことで、市内の商工業に親しむ機会をつくれます。

<目的・背景>

商工業の振興の契機として物品販売ブースを設け、各会場間を連携させることにより、本市の商・工・農に対する参加者の理解を深めます。同時に、学研北生駒駅周辺の活性化や先端科学技術大学院大学の活動に対する参加者の理解を深めます。

<事業概要>

高山サイエンスタウンにおいて、商工業品の展示・生駒の新しいお土産等の販売ブースを設置します。

<スケジュール>

平成25年11月上旬予定

岡経済振興課商工観光係(内線323)